

## 奈良県における新型コロナウイルス感染症拡大に係る緊急要請

現在、全国的に新型コロナウイルスの感染拡大が生じ、新規陽性者が過去最多を更新する日が続いています。奈良県においても連日のように約 200 人の陽性者が確認され、直近 1 週間の人口 10 万人あたりの感染者数は 100 人と、感染状況が最も深刻な「ステージ 4」に相当する 25 人を遥かに超えています。また、病床使用率も 65%(22 日)に上り、医療体制がひっ迫しつつあります。

現在、緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置が適用されている都道府県に匹敵する深刻な状況であり、県民の不安の解消と更なる感染拡大の防止のため、下記の対策を求めます。

### 1 緊急事態宣言の発出要請

奈良県とつながりの深い周辺府県に緊急事態宣言が発出されている中、奈良県としても一体となって感染防止対策に全力を尽くす必要があります。より効果的な感染防止対策のため、国に対して緊急事態宣言の発出を要請されることを強く要望致します。

### 2 より強力な感染防止策を可能にする法整備の要請

全国知事会は、20 日に緊急提言を行い、全国的な感染爆発を抑えるための、いわゆる「ロックダウン」のような、徹底した人流抑制策について、緊急的時限措置として、国の責任の下で、特措法・旅館業法等必要な法整備の検討を国に要請しています。

感染力の強いデルタ株がまん延する現状では、これまでにない感染防止対策を強力に発動することも検討されるべきです。奈良県としても、国に対してロックダウンも含めた人流抑制策についての法整備の検討を国に要請されることを要望致します。

### 3 医療体制の確保

県民の不安を解消するために、入院病床の追加的確保など、適切な治療を受けられる体制を確保することを要望致します。

令和 3 年 8 月 27 日

奈良県知事 荒井 正 吾 様

立憲民主党奈良県総支部連合会 代表 馬 淵 澄 夫  
県議会 「新 政 な ら」